

■断熱補強の仕様

断熱材の施工法	地域区分				
	1・2	3・4	5~7	8	
内断熱工法	断熱補強の範囲(mm)	900	600	450	—
	断熱補強の熱抵抗の基準値(m <sup>2</sup> ·K)/W	0.6	0.6	0.6	—

※H28年基準 地域区分等に応じた断熱補強仕様1の場合より

■断熱補強の仕様

地域区分	熱抵抗の基準値(m <sup>2</sup> ·K)/W	必要厚さ(mm)
4~7	1.1	25

⚠ **注意事項**

使用に当たっては、**施工手順、注意事項等をご確認の上**正しくご使用ください。  
 本製品の正規の使用目的、用途、方法以外に使用された場合には責任を負いかねますのでご了承下さい。  
 カタログ記載の規格、仕様は製品改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

《**取り扱い注意事項**》

- 火気厳禁(溶接厳重注意)**  
火気に接触すると燃えます。ミラフォームは燃えると黒煙が発生します。従って、輸送、保管、施工等に際しては火気に十分に注意すると共に、適切に養生してください。特に溶接・溶断等の火気を使用する場合、火花が当たらないように不燃シートなどで必ず養生してください。ミラフォームの酸素指数は26以上です。
  - 火気注意(保管・換気について)**  
ミラフォームに使用している発泡剤は可燃性ガスを使用しており、製品に微量残留しています。この可燃性ガスは、保管・施工中に大気中へ徐々に逸散し、空気よりも重いことから、ピットなどの掘り下げた閉鎖的な空間に滞留しやすい性質があります。可燃性ガスが滞留し爆発限界を超える状況下で火気に触れると火災や爆発が発生する可能性があります。そのため輸送・保管・施工時には火気と換気に十分注意してください。特に閉鎖空間での保管や施工に際しては、可燃性ガス(発泡剤)が滞留しないよう場所の選定や換気の意図的導入など設計・施工管理における注意が必要です。
  - 紫外線注意**  
直射日光に長時間曝すと徐々に表面から変色劣化し、接着不良、厚さの減少等の原因になりますので、保管に当たっては養生シートで覆い、施工後は速やかに仕上げを行ってください。
  - 有機溶剤注意**  
アルコール系以外の有機溶剤、石油類には侵されますので、接着剤、塗料等の選択及び木造住宅での防蟻・防蟻薬剤の選定及び使用方法については事前にこれらのメーカーにお問い合わせください。
  - 高温注意**  
使用温度は70℃以下です。直射日光等による急激な温度上昇や多湿状態では70℃以下でも変形が起こる場合があります。養生シートで覆う等、高温多湿状態にならないようご注意ください。
  - 割れ・踏み抜き注意**  
局部圧縮や衝撃には弱く割れやすい材料です。下地のない箇所には乗らないでください。
  - 強風注意**  
軽量で取扱が容易な反面、風にあおられやすいので強風下での作業は注意してください。また、保管に当たっては飛散防止処置をしてください。
  - その他の注意**  
(1) フォームの屑が目に入った場合は、こすらず流水で洗浄してください。  
(2) 熱線スライス等、煙の発生する作業を行なう場合は、換気を十分行なってください。  
(3) 燃やすと黒煙(スス)がでますのでご注意ください。(廃棄の際は条例に従って処理してください。)  
(4) 鳥、鼠、昆虫等によって損傷を受けることがありますが、栄養源や餌にはなりません。
- 以上の注意事項に関しては、一般的な取り扱いを対象としたものです。それ以外の使用に関してはお問い合わせください。

《**施工時の注意事項**》

- 施工中及び型枠解体時はJSP折返しラムダを破損しないように充分注意してください。破損が生じた場合は同種の材料を接着材で貼るなどして断熱欠損が生じないように補修してください。
- **断熱材の破損及び錆の発生を防止**するため、JSP折返しラムダを型枠に仮止める際は、**プラスチック釘**を使用してください。又は無頭釘を使用して型枠解体後に釘が残らないようにして下さい。
- 打ち込み時のノロの侵入を防止するため、プラスチック釘または無頭釘は、極力ボードの外側(外側から15~25mm程度)に取り付けてください。
- ボード側のセパレータの固定には**断熱パット**を使用してください。軸足による穴などは現場発泡断熱材等を充填してください。
- 型枠に離型剤を塗るとJSP折返しラムダの接着層が剥がれる可能性がありますので、**離型剤は使用しないでください。**
- JSP折返しラムダを打ち込む部分は、コンクリートのかぶり厚さが確保されるように注意してください。又、コンクリート打設時は、ボードに直接バイブレータを当てない様に注意してください。
- スラブにJSP折返しラムダを打ち込む場合は、ボード部の鉄筋は台座付スペーサーで受けてください。
- JSP折返しラムダは準不燃、不燃認定材料ではないため、内装制限によっては、ご使用頂けない場合がありますのでご注意ください。

**株式会社 JSP** 建築土木資材事業部 ホームページ [www.co-jsp.co.jp](http://www.co-jsp.co.jp)

東日本建材営業部  
 札幌営業所 〒060-0003 札幌市中央区北3条西1-1(サンメモリアビル) TEL 011-231-2681(代) FAX 011-231-7850  
 仙台営業所 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-4-1(青葉通パークビルディング) TEL 022-262-3271(代) FAX 022-266-9583  
 東日本建材グループ 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-2(新日石ビル) TEL 03-6212-6362 FAX 03-6212-6369

西日本建材営業部  
 名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦3-4-6(桜通大津第一生命ビル) TEL 052-962-3225(代) FAX 052-962-3252  
 大阪営業所 〒541-0053 大阪市中央区本町1-6-16(いちご塚筋本町ビル) TEL 06-6264-7903 FAX 06-6264-7913  
 福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-12-17(五幸ビル) TEL 092-411-6863 FAX 092-474-2706

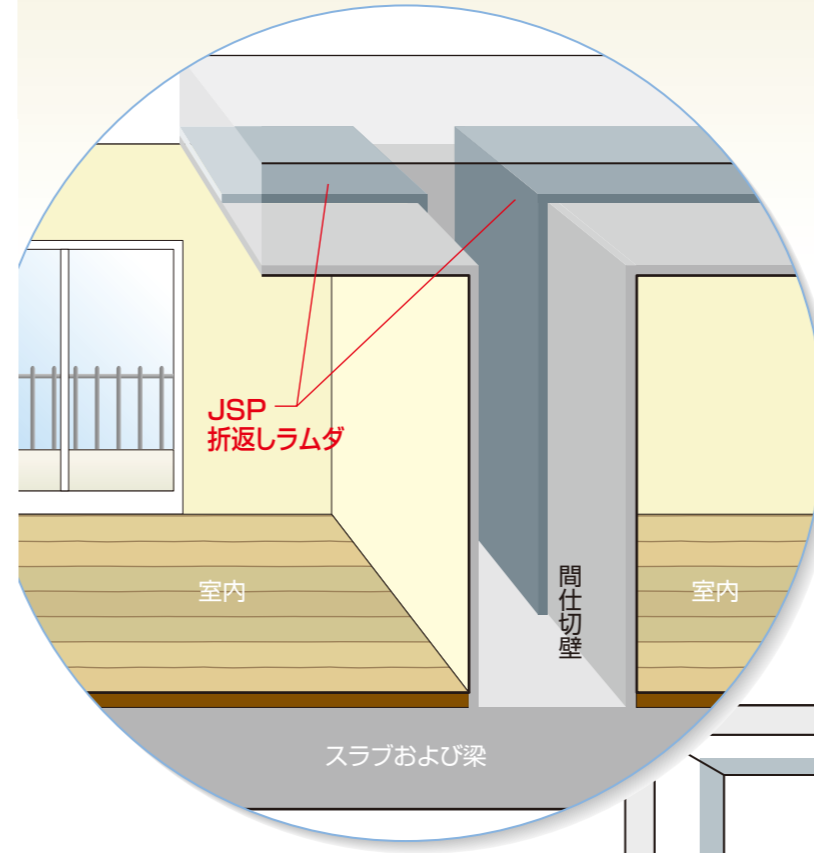
工場 北海道工場、鹿沼工場、関西工場、九州工場

お問い合わせ

熱橋部の断熱補強材 (RC・SRC造打ち込み工法用)

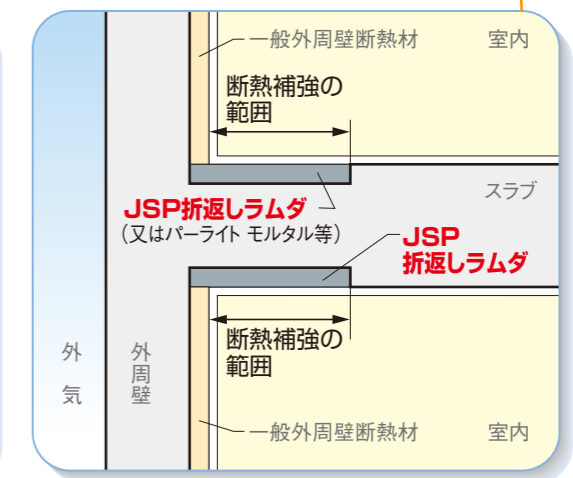
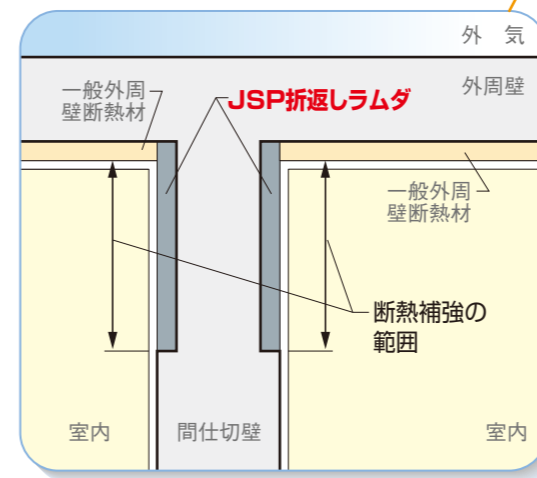
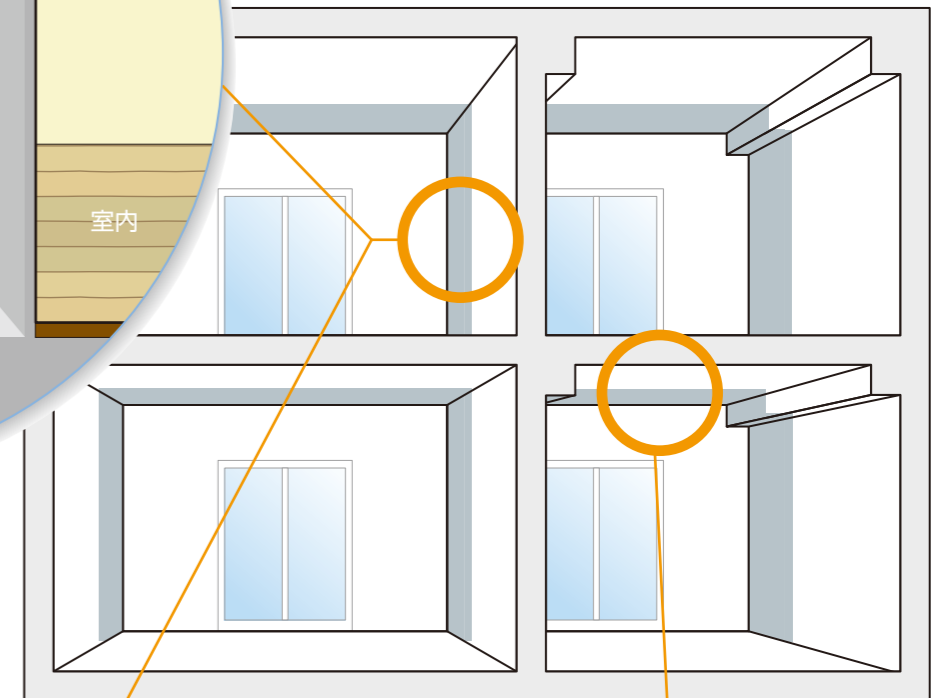
# JSP折返しラムダ

ノンフロン製品



JSP折返しラムダは構造熱橋部になる間仕切り壁、スラブおよび梁などの断熱補強材です。熱損失を低減し、結露防止に効果があります。

グリーン購入法特定調達品目(断熱材)適合品



株式会社 JSP

熱橋部の断熱補強材 (RC・SRC造打ち込み工法用)

ノンフロン製品

グリーン購入法特定調達品目(断熱材)適合品

# JSP折返しラムダ

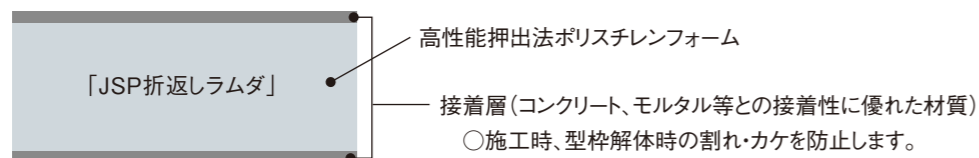
JSP折返しラムダは、鉄筋(鉄骨鉄筋)コンクリート造住宅等で、  
熱橋の恐れとなる断熱層を貫通する間仕切り壁、スラブ及び梁等の断熱補強に最適です。

## 特徴

- コンクリート同時打ち込み工法での施工のため、断熱補強部のフラットな仕上げが可能です。
- 押出法ポリスチレンフォームを芯材とするため、打ち込み時はもちろん、経時変化に対しても吸水の心配がなく、常に高い断熱性能が確保されます。

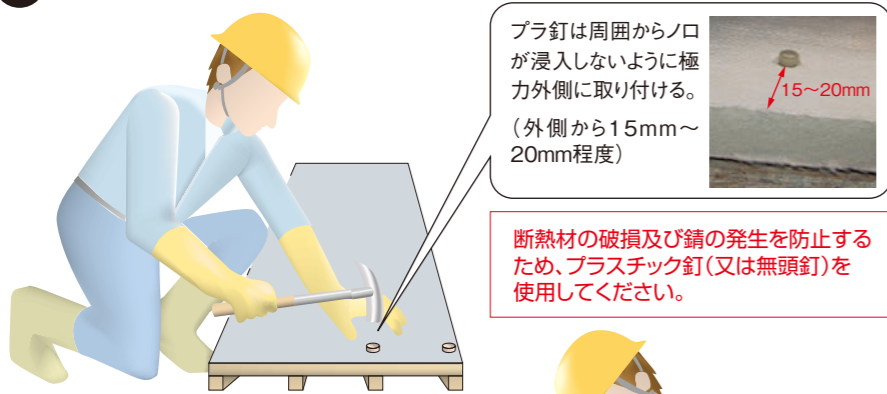
熱抵抗値  
**0.6**  
m<sup>2</sup>・K/W

## 製品構造

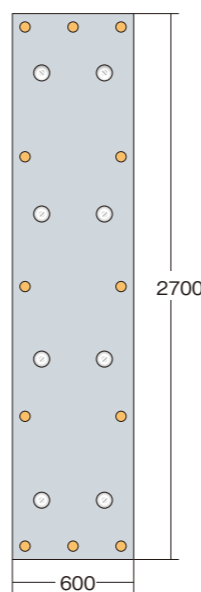


## ▶ 施工手順

### 1 JSP折返しラムダを型枠に**ブラ釘**で固定する。



- ブラ釘のピッチの目安
- 断熱パット取り付け位置の目安  
幅600×長さ2700の場合

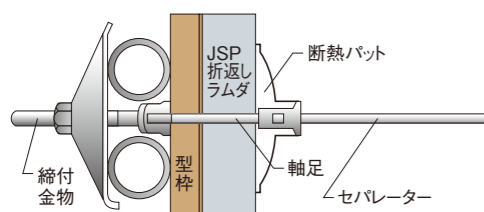


- ブラ釘
  - 断熱パット
- ブラ釘ピッチの目安  
幅方向 約300  
長手方向 約500

### 2 JSP折返しラムダに断熱パットを取り付ける。



断熱パット取り付け後の断面図



### 4 コンクリートを打設する。

- JSP折返しラムダに直接バイブレータを当てない様に注意する。

## 規格

厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(mm)
15・25 20*	450	1,820
	900	

\*その他厚さ・寸法についてはお問い合わせください。

## 物性

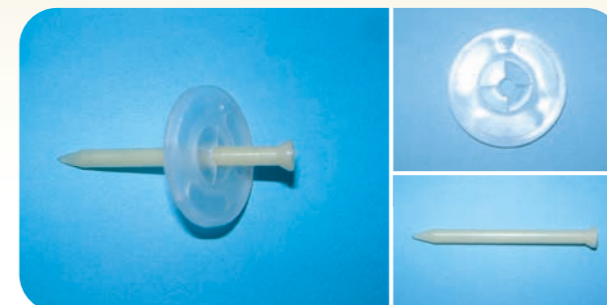
厚さ(mm)	条件	熱抵抗値(m <sup>2</sup> K/W)	測定法
15	平均温度23°C	0.6	JIS A 9521
25		1.1	

## 推奨品(一般市販品)

以下の部材を使って施工されることをお勧めします。



●段付プラスチック釘



●プラスチック釘とボードキーパー



●断熱パット

※釘の長さは(JSP折返しラムダの厚さ)+(型枠合板の厚さ)程度のものをご使用下さい。

### 3 型枠を建て込む。

- コンクリート打設時のノロ侵入防止のため、JSP折返しラムダジョイント部には目地テープ等を貼ることをお勧めします。



### 5 型枠を解体する。

- 軸足の撤去、ブラ釘の処理を行なう。
- コンクリート面と断熱材及び断熱材どうしの継ぎ目はファイバーテープを貼る等の処理をしてください。

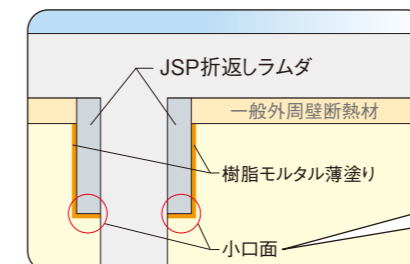


### 6 樹脂モルタル薄塗りで仕上げる。

- JSP折返しラムダ面とコンクリート面を通して、樹脂モルタル薄塗りで仕上げる。  
(塗り厚さは原則2~3mm程度)
- 樹脂モルタルは薄塗り用の既調合モルタルに対し、4~8wt%の樹脂成分(エチレン酢酸ビニル系エマルジョン)を調合したものを使用してください。



⚠樹脂モルタルは養生時の収縮によるクラックの発生を最小限に抑えるために、しごき塗り後コテ圧を十分に掛けて塗ってください。



JSP折返しラムダを間仕切り壁の外側に突き出して施工する場合は、木口面も必ず樹脂モルタル薄塗りで仕上げてください。

### 7 クロスを貼って仕上げる。

